

「第3次岐阜県廃棄物処理計画」における施策の実施状況及び今後の方向性

1 廃棄物の排出抑制・循環的利用及び適正処理の推進

■ 主な取組

(1) ごみ減量化の推進

- ・ プラスチック利用合理化等に取り組む事業所等を登録する「岐阜県プラスチック・スマート事業所『ぎふプラスマ!』」の取組推進
- ・ バイオプラスチックへの代替を促進するため、キッチンカーやスーパーマーケット、高校・大学におけるバイオプラスチック容器の試供品モニタリングの実施
- ・ 食品ロス削減に向けて「ぎふ食べきり運動」協力店登録制度を創設し、飲食店と連携した食べきり運動を推進
- ・ 家庭で実践できる食品廃棄物削減の取組をInstagramや県ホームページで紹介するなど啓発を実施
- ・ 商品棚の手前にある商品を積極的に選ぶ「てまえどり」の呼びかけのため、「ぎふ食べきり運動」協力店においてレールポップを設置
- ・ 環境にやさしい買い物（グリーン購入）の普及を図るため、愛知県、三重県、名古屋市、関係団体等と連携し懸賞応募企画キャンペーンを実施

(2) リサイクルの推進

- ・ 県内で発生した資源循環推進のため、岐阜県リサイクル認定製品の認定並びに県事業における優先活用、市町村等への呼びかけ、県ホームページ、パンフレットでの製品紹介により利用促進を実施
- ・ 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」の適正な運用と推進を図るため、県ホームページ等で、制度の趣旨、届出手続等の周知
- ・ 生ごみ、紙ごみ及びプラスチックごみ等の削減を図るため、市町村の分別ルールに従った丁寧な分別を市町村と連携して推進
- ・ 環境と経済を両立する持続可能なビジネスの実現をテーマにサーキュラーエコノミーセミナー及びワークショップの開催

(3) 一般廃棄物の適正処理の推進

- ・ 一般廃棄物処理施設に対する立入調査の実施
- ・ 市町村等が行う一般廃棄物処理施設整備に対する、国制度の活用を通じた支援の実施
- ・ 食品廃棄物対策の推進を図るにあたり、食品廃棄物の実態を把握する必要があるため、食品廃棄物及びプラスチックごみ実態調査の実施
- ・ 市町村が一般廃棄物の処理に関する責務を果たすことができるように、市町村担当者会議を開催し、必要な情報提供や技術的助言などの支援を実施

(4) 産業廃棄物の適正処理の推進

- ・ 産業廃棄物処理業者等への立入検査を実施し、産業廃棄物の適正処理を指導
- ・ 排出事業者における産業廃棄物の適正処理に関する知識向上を目的とした法令講習の実施
- ・ 農業用使用済プラスチックの適正処理を推進するため、農業関係団体を通じて農業者に対し情報提供等の実施

(5) 有害廃棄物の適正処理の推進

- ・ PCB廃棄物の保管・処分などについて必要な規制を行うため、PCB廃棄物の保管事業者に対する、適正な保管及び期限内処理等に係る指導の実施
- ・ 事業所や家庭から排出される有害廃棄物が適正に処理されるよう、水銀廃棄物やアスベスト廃棄物の処理に関する情報提供及び助言の実施

■ 主な取組実績

・「ぎふプラスマ！」の登録事業者・店舗数

R 3	121 社 978 店舗	R 4	149 社 1,055 店舗	R 5	166 社 1,266 店舗	R 6	370 社 1,537 店舗
-----	-----------------	-----	-------------------	-----	-------------------	-----	-------------------

・「ぎふ食べきり運動」の協力事業者・協力店舗数

R 3	700 店舗	R 4	1,223 店舗	R 5	1,396 店舗	R 6	1,400 店舗
-----	--------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

・ぎふ食べきり運動【岐阜県公式】のインスタグラムフォロワー数

R 3	868 人	R 4	938 人	R 5	1,039 人	R 6	1,139 人
-----	-------	-----	-------	-----	---------	-----	---------

・「てまえどり」のレールポップ掲出実績

R 3	セブンイレブン (193 店舗)、配布数：200 枚
R 4	ファミリーマート (342 店舗)、配布数：1,368 枚 (4 枚/店舗)
R 4	スーパーマーケットバロー (70 店舗)、配布数：350 枚 (5 枚/店舗)
R 5	セブンイレブン (193 店舗)、配布数：200 枚
R 6	V-drug (114 店舗)、配布数：1,140 枚 (10 枚/店舗)

・環境に配慮したプラスチック容器の試供品のモニタリング実施状況

R 3	飲食店など 75 店舗で実施
R 4	バロー 3 店舗、コープぎふ 2 店舗で実施
R 5	大垣桜高校での調理実習、東海学院大学の行事・イベント等でのキッチンカー出店の機会を活用し、約 8,000 セットの試供品を提供
R 6	大垣桜高校、岐阜女子高校での調理実習・店頭販売、東海学院大学の行事・イベント等でのキッチンカー出店の機会を活用し、14,000 セットの試供品を提供

・東海三県グリーン購入キャンペーン参加者店舗数 ※R3は、コロナのため未実施

R 3	未実施	R 4	588 店舗	R 5	798 店舗	R 6	579 店舗
-----	-----	-----	--------	-----	--------	-----	--------

・リサイクル認定製品の認定製品数

R 3	149 件	R 4	147 件	R 5	144 件	R 6	139 件
-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

・リサイクル認定製品の販売実績（民間、他県等の総額）※R6の販売実績は、R7.12月頃確定

R 3	127 億	R 4	143 億	R 5	137 億	R 6	〇〇
-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	----

- ・サーキュラーエコノミーセミナー及びワークショップの参加人数

セミナー	37名（現地）	28名（ZOOM）
ワークショップ	12名（現地のみ）	—

- ・食品廃棄物及びプラスチックごみ実態調査（R2～R3年度）

対象市町村	食品廃棄物の割合	プラスチック廃棄物の割合
高山市	38.8%	13.0%
各務原市	37.3%	20.8%

- ・市町村担当者会議の開催回数

R3	1回	R4	1回	R5	1回	R6	1回
----	----	----	----	----	----	----	----

- ・県内の農業用使用済プラスチック排出量の推移 ※2年に1度調査

R2	553 t	R4	616 t	R6	427 t
----	-------	----	-------	----	-------

- ・PCB廃棄物の保管事業者数 ※R6の事業者数は、R7.12月頃確定

R3	403事業者	R4	317事業者	R5	288事業者
----	--------	----	--------	----	--------

■ 今後の方向性

- ・ごみ減量化の推進、リサイクルの推進など、各事業を継続して実施するとともに、「資源循環」に力点を置いた普及啓発を実施。
- ・プラスチック資源循環推進のより一層の取組が求められているため、高校生や大学生など若年層に向けた新たな取組の実施。
- ・一般廃棄物の再生利用向上に資する取組みの強化。
- ・低濃度PCB廃棄物の適正な保管及び期限内処理等に係る指導を継続して実施

2 美しい生活環境の保全

■ 主な取組

(1) 不法投棄等の不適正処理対策の徹底

- ・ 24時間365日不法投棄に関する通報を受け付ける、「廃棄物インターネット110番」の活用や、空と陸から連絡を取りながらパトロールを行う「スカイ&ランドパトロール」の実施
- ・ 産業廃棄物収集運搬者に対する路上検査の実施
- ・ 行政の監視が手薄となる夜間休日に不法投棄等を監視するため、業務委託による不法投棄等監視パトロールの実施
- ・ 不法投棄を早期に把握するため、各種団体等との連携による通報体制の整備

(2) 街や川の清掃など海洋ごみ対策の推進

- ・ 県内で発生した散乱ごみが河川を經由して海洋へ流出することによる海洋汚染を防ぐため、市町村や関係機関とともに街や川の清掃活動を行う「美しいふるさと運動」の推進
- ・ 重点モデル区域内の散乱ごみを抑制するため、市町村海洋ごみ発生抑制対策事業費補助金により、重点モデル区域における活動の支援等「清流の国ぎふ 海洋ごみ対策推進計画」に基づく事業の実施

■ 主な取組実績

- ・ 「廃棄物インターネット110番」の受案件数

R3	114件	R4	119件	R5	80件	R6	91件
----	------	----	------	----	-----	----	-----

- ・ 不適正処理通報等受案件数

R3	3,175件（うち産廃分：248件）
R4	3,574件（うち産廃分：210件）
R5	3,378件（うち産廃分：199件）
R6	3,560件（うち産廃分：257件）

- ・ 不法投棄等監視パトロールの実施回数

年間400回（R3～R6）

- ・ 不法投棄等通報協力体制における包括連携協定企業（直近）

R5	セイノーホールディングス（株）
H30	日本郵便（株）
H27	中部電気保安協会岐阜支店

- ・ 環境美化活動の参加人数

R3	141,852人	R4	210,985人	R5	217,823人	R6	197,101人
----	----------	----	----------	----	----------	----	----------

- ・ 市町村海洋ごみ発生抑制対策事業費補助金交付市町村数

R5	8市町：7,655千円	R6	6市町：1,602千円
----	-------------	----	-------------

※国の要綱が変更され、対象事業が減少したため補助金額が減少

■ 今後の方向性

- ・ 不法投棄等の不適正処理対策の徹底を図るため、パトロール等を継続して実施。
- ・ 「海洋ごみ対策推進計画」が策定されたことも踏まえ、国際的な課題となっている海洋プラスチックごみ対策を継続して推進。

3 災害・感染症・気候変動への備え

■ 主な取組

(1) 災害廃棄物処理対策の推進

- ・ 市町村担当者会議や研修会を開催し、市町村災害廃棄物処理計画の策定を支援するとともに、計画の早期策定を依頼
- ・ 災害時における県及び市町村の対応能力の向上及び連携体制の構築を図るため、災害廃棄物処理図上演習を年1回開催

(2) 感染症対策の推進

- ・ 「廃棄物処理法に基づく感染症廃棄物処理マニュアル」等に従い、県民及び事業者に対する廃棄物の処理方法等に係る注意事項の周知
- ・ 市町村等担当者会議を年1回開催し、感染症に係る廃棄物の取り扱いの周知

(3) 気候変動への対応（再掲となるため、主な取組は省略）

■ 主な取組実績

- ・ 市町村の災害廃棄物処理計画の策定状況
24市町村（R3） → 42市町村（R6）
- ・ 災害廃棄物処理図上演習への市町村担当者の参加者（延べ人数）
88人（R3） → 180人（R6）
- ・ 令和6年5月21日、住友大阪セメント（株）と包括連携協定を締結し、災害時の早期復旧等に関する連携協力体制を構築
- ・ 令和6年能登半島地震において、輪島市を始めとする能登地方の2市3町で、公費解体申請の受付窓口を支援（延べ127名派遣：県2名、25市町125名）
※近年の大規模災害の対応で得られた知見を踏まえ、令和7年度に岐阜県災害廃棄物処理計画の改定中

■ 今後の方向性

- ・ 災害廃棄物処理計画については、県計画への整合を維持するよう市町村への呼びかけの実施
- ・ 県及び市町村の連携体制等の向上を図るため、図上演習を継続して実施。
- ・ 感染症対策の推進については、県ホームページ等を活用し周知を継続して実施。

4 各主体との連携強化

■ 主な取組

- ・ プラスチック資源循環のための実効性のある取組について協議・検討するため「プラスチック資源循環推進懇談会」を令和5年度に設置
- ・ 令和4年度より、ごみ拾いSNSと連携し、地域の清掃活動をリアルタイムで「見える化」することを目的とした清掃活動ウェブページを運営
- ・ 富山県と連携した取組として、ウェブページを活用して投稿を募集するオンラインイベント等を実施し、参加者のつながりを構築
- ・ バイオプラスチックへの代替を促進するため、キッチンカーやスーパーマーケット、高校・大学におけるバイオプラスチック容器の試供品モニタリングの実施【再掲】
- ・ 環境にやさしい買い物（グリーン購入）の普及を図るため、愛知県、三重県、名古屋市、関係団体等と連携し懸賞応募企画によるキャンペーンを実施【再掲】
- ・ 市町村が一般廃棄物の処理に関する責務を果たすことができるように、市町村担当者会議を開催し、必要な情報提供や技術的助言などの支援を実施【再掲】
- ・ 排出事業者における産業廃棄物の適正処理に関する知識向上を目的とした法令講習の実施【再掲】
- ・ 24時間365日不法投棄に関する通報を受け付ける、廃棄物インターネット110番の活用や、空と陸から連絡を取りながらパトロールを行うスカイ&ランドパトロールの実施【再掲】
- ・ 行政の監視が手薄となる夜間休日に不法投棄等を監視するため、業務委託による不法投棄等監視パトロールの実施【再掲】
- ・ 不法投棄を早期に把握するため、各種団体等との連携による通報体制の整備【再掲】
- ・ 県内で発生した散乱ごみが河川を經由して海洋へ流出することによる海洋汚染を防ぐため、市町村や関係機関とともに街や川の清掃活動を行う「美しいふるさと運動」の推進【再掲】
- ・ 重点モデル区域内の散乱ごみを抑制するため、市町村海洋ごみ発生抑制対策事業費補助金により、重点モデル区域における活動の支援等「清流の国ぎふ 海洋ごみ対策推進計画」に基づく事業の実施【再掲】
- ・ 市町村担当者会議や研修会を開催し、市町村災害廃棄物処理計画の策定を支援するとともに、計画の早期策定を依頼【再掲】
- ・ 災害時における県及び市町村の対応能力の向上及び連携体制の構築を図るため、災害廃棄物処理図上演習を年1回開催【再掲】
- ・ 「廃棄物処理法に基づく感染症廃棄物処理マニュアル」等に従い、県民及び事業者に対する廃棄物の処理方法等に係る注意事項の周知【再掲】
- ・ 市町村等担当者会議を年1回開催し、感染症に係る廃棄物の取り扱いの周知【再掲】

■ 主な取組実績

- ・「プラスチック資源循環推進懇談会」の開催実績（R5から実施事業）

R5	2回	R6	1回
----	----	----	----

- ・清掃活動ウェブページへの投稿数（R4から実施事業）

R4	2,921件	R5	1,822件	R6	1,279件
----	--------	----	--------	----	--------

- ・清掃活動への参加者数（累計）（R4から実施事業）

R4	18,120人	R5	24,266人	R6	39,458人
----	---------	----	---------	----	---------

- ・清掃活動で拾われたごみの数（累計）（R4から実施事業）

R4	718,822個 (44,926.4L)	R5	1,156,171個 (72,260.7L)	R6	2,363,830個 (147,739.4L)
----	-------------------------	----	---------------------------	----	----------------------------

- ・富山県と連携したイベントの実施（R4から実施事業）

R5	令和5年6月15日（木）～10月31日（火）（オンラインイベント） 「岐阜・富山をきれいに～内陸から海まで～」 ウェブページを活用して、岐阜県または富山県にて清掃活動を行い、期間内にごみ拾い SNS「ピリカ」へ、「#岐阜・富山をきれいに」のハッシュタグをつけて投稿いただいた方の中から抽選で毎月10名様（10月は20名様）に、エコバック等の景品をプレゼント 延べ参加人数：1,471人 拾われたごみの数：252,785個
R6	令和6年10月19日（土） 「岐阜・富山をきれいに～内陸から海まで～ in 飛騨高山」 （高山市と連携し、「第47回飛騨高山クリーン作戦」と同時開催） 参加人数：約80名

■ 今後の方向性

- ・引き続き、プラスチックに関する有識者等で構成するプラスチック資源循環推進懇談会を開催。
- ・民間事業者と大学や高校と連携した環境配慮型プラスチックに係る特別授業を実施するなど、産官学連携による取組みを推進。
- ・他自治体はもとより、民間団体等と連携した清掃活動を継続して実施。